

芋月仲間が秋夜に揺れる音

160915

流す日記を書き終わり

一気にカーテンを開くと

そこには母の顔

月が出ているよ！

あなたの大好きな

あおば

あなたは2100年になると

109歳

賢くて可愛いアンドロイドの女の子

凛々しい男の子が交代で介護してくれる

今夜は15夜

勝ち組の家のカーテンからは

ドビツシーのピアノの調べ

シューベルトも負けないぞ！

黒鍵を連打する、連打する

負け組の僕たちは

見晴らしの良い河原に腰掛け

互いに生芋を嚙りながら

月面就業試験に受かる見込みの無い

僕たちは

ネイティブの日本語しか使えない

自動翻訳器ではあなたのかわいさが

うまく伝わらないのさ

いざというときの意思疎通にも支障があるから

5カ国語くらいは身につけていないとね

月での仕事は駄目だとき

日本語を絶やすなの掛け声で、

ときたま日本語教室は開かれるけど

かぐや姫のお話などを教えるものだから

だれも本気になつてくれないのさ

今でも現代詩を書いている僕たちは、

いまでは何語で書けばよいのか分からずに

仕方なく身に染みつけている日本語だから

読んでくれるお金持ちの読者もないから

紙に鉛筆で書いて風船に結びつけ夜空に飛ばすんだ

上空2万メートルくらいまでは揚つてくれる

風船が限界まで膨らんでパチンと割れて

その後はゆっくりと落ちてゆく

ジェット気流に乗り込み

地球の何処かに届くんだ

そこがどこであれ、君のバルコニーである可能性も
少しはあるだろうと本気で考える

月見る夢の月呼さま♡

以下を読んで書きました

「洗礼ダイアリー」文月悠光、ポプラ社

初出「即興ゴルコンダ(仮)」

<http://golconda.bbs.fc2.com/>

タイトルは、藤鈴呼さん